



Noh
OHTSUKI NOH THEATRE

能に見る

令和7年度大槻能楽堂自主公演能

2025
12.20
SAT

お話 山巡りの鬼女に見る輪廻 石淵 文恵

狂言 **抜殻** 善竹 隆司

能 **山姥** 上田 拓司
長杖之伝



鬼の世界

2026
2.21
SAT

お話 地獄の思想 宮本 圭造

能 **求塚**

観世 清和

能の魅力を探るシリーズ

2026
3.21
SAT

お話 魔界の首領 鬼妖怪

大森 亮尚

復曲能 **松山天狗**

浦田 保親



「求塚」シテ：観世清和 提供：観世宗家

令和7年度 大槻能楽堂自主公演能 音声による上演前の解説(日英)

- 能一番 100円
- 能(狂言も含む)二番以上 200円

公演日の演目について気軽に聞ける、音声による上演前の解説(日英)をご用意しました。開演前、休憩中にぜひご利用ください。※上演中はご利用いただけません。

大槻能楽堂

主催：公益財団法人大槻能楽堂

助成：不 大阪市助成



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒540-0005 大阪市中央区上町A-7
TEL.06-6761-8055
【公式サイト】noh-kyogen.com

公演パンフレット「おもて」
季刊発行(詞章・あらすじ等を掲載)
1冊:1000円(定価)



狂言 拔殻

シテ 太郎冠者 善竹 隆司
アド 主 善竹 彌五郎
後見 小西 玲央

休憩

能 山姥

長杖之伝

前シテ 女 上田 拓司
後シテ 山姥 上田 顕崇
ツレ 百万山姥 福王 茂十郎
ワキ 従者 喜多 雅人
ワキツレ 供人 矢野 昌平
ワキツレ 〃 善竹 忠亮
アイ 里人

笛 小鼓 大鼓 太鼓
後見 齊藤 敦
荒木 建作
守家 由訓
上田 悟

大槻 文蔵
武富 康之

地謡 上田 貴弘
赤松 禎友
上野 雄三
山本 正人
齊藤 信輔
大槻 裕一
山田 薫
上田 宜照

(終演予定時間17時20分頃)

休憩

能 求塚

前シテ 里女 観世 清和
後シテ 菟名日処女の霊 観世 三郎太
ツレ 里女 林喜右衛門
ツレ 〃 坂口 貴信
ワキ 旅僧 福王 茂十郎
ワキツレ 従僧 喜多 雅人
ワキツレ 〃 中村 宜成
アイ 所の者 茂山 逸平

笛 杉 市和
小鼓 成田 達志
大鼓 亀井 広忠
太鼓 前川 光長

後見 上田 貴弘
赤松 禎友
上野 雄三

地謡 大槻 文蔵
上田 拓司
杉浦 豊彦
浦田 保親
武富 康之
齊藤 信輔
井上裕之真
大槻 裕一

(終演予定時間16時50分頃)

狂言《拔殻》

使いに行く褒美の振る舞い酒をわざわざ催促までして飲ませてもらった太郎冠者。ずいぶん酔っぱらって出掛けた太郎冠者を心配して、主人が後を追うと、案の定、道端で眠りこけていた。この態を見て呆れた主人は、太郎冠者を懲らしめるために鬼の面をかぶせて帰る。

太郎冠者が眠ってから目覚めて水鏡で自分の姿を見た感情を独演するもの見どころ。父の二世彌五郎を相手に、この大役の太郎冠者を演ずる善竹隆司に期待したい。

能《山姥 -長杖之伝-》

山姥の山めぐりの様子を舞にして都で評判をとり、「百万山姥(ひゃくまやまんば)」と呼ばれた遊女がいた。その一行が、信濃国の善光寺へ参詣する途次、難所の上路越(あげろごえ)にさしかかったところで、不思議や夕刻でもないのに日が暮れてしまった。そこへ女が宿を貸そうと声をかけてきた。彼女こそ本物の山姥だった。

声佳し姿佳しの上田拓司が、ツレとしては難役である遊女「百万山姥」に三男の顕崇、地頭には兄で上田家当主の貴弘を配して、月光に照らされた深山幽谷の神秘、山姥と遊女の優しい心の交流を描き出してくれるだろう。

休憩

復曲能 松山天狗

前シテ 老人 浦田 保親
後シテ 崇徳上皇の霊 深野 貴彦
ツレ 白峰の相模坊 齊藤 信輔
ツレ 眷属の小天狗 山田 薫
ツレ 〃 宝生 欣哉
ワキ 西行法師 善竹 隆平
アイ 番の齋

笛 杉 信太郎
小鼓 清水 皓祐
大鼓 山本 哲也
太鼓 前川 光範

後見 大槻 文蔵
赤松 禎友
上野 雄三

地謡 片山九郎右衛門
浦田 保浩
上田 拓司
寺澤 幸祐
味方 團
武富 康之
大槻 裕一
笠田 祐樹

(終演予定時間16時40分頃)

能《求塚》

春まだ浅い生田の里。旅の僧は、生田川のほとりで若菜摘む乙女に求塚へ案内され、壮絶な伝説を聞く。昔、二人の男に求愛された菟名日処女(うないおとめ)という少女が、一人に決められず苦悩の末に生田川に身を投げ、男たちも刺し違えて後を追ったという。少女は死後、地獄に堕ちて、その罪の報いを一身に受けていた。

穏やかな早春の風景が一変して業火逆巻く地獄絵と化す。観世流二十六世宗家観世清和(文化功勞者・日本芸術院会員)が舞台に現出させるのは、『万葉集』など古代の物語を題材にして繰り広げられる中世の地獄の世界だ。

復曲能《松山天狗》

保元の乱で敗れ、讃岐国松山に流された崇徳院は、冥府の魔王となり朝廷への復讐を誓って悲憤と嘆きのうちに死を遂げ、亡き玉体は都へ戻されることもなく配所に葬られた。時は流れ、白峰にある陵墓を訪ねた西行法師が哀悼の歌を手向けると、崇徳院の亡霊が現れる。

観世流では1994年「能劇演の座」が復曲(能本作成・西野春雄、演出・八世観世鍬之丞)。初演以降、名手たちによって再演が重ねられてきた本作。西行法師に宝生欣哉(人間国宝)、地頭に十世片山九郎右衛門を迎えて、この壮絶な物語を浦田保親がどのように演ずるか楽しみだ。 [文・石淵文恵]

能をはじめてみる方へ 事前レクチャー

日時 各公演当日 12時40分～12時55分(入場12時30分)
料金 500円(当日支払い)
申込日 各公演の一般発売日より受付を開始します
応募方法 電話またはQRコードの予約フォームより
ご応募ください

※事前予約制(各公演前日16時までに申し込みください)
※該当の公演チケットをご購入のお客様限定の開催となります



入場料金	席種	前売	当日
	S席	6,500円	7,500円
	A席	6,000円	7,000円
	B席	5,500円	6,500円
	学生(B席)	3,300円	4,300円
U-25 25歳以下(B席)		席数限定 1,100円	B席 2,100円 立ち見 800円

※友の会：割引特典あり ※当日券は開演1時間前より販売

チケット発売日		
公演	友の会	一般
12/20 山姥	10/10	10/20
2/21 求塚	12/12	12/19
3/21 松山天狗	1/9	1/21

チケットご予約・ご購入 ★各種サポートセットの販売有

★大槻能楽堂ホームページ(発売日10:00～)

<https://noh-kyogen.com/ticket/>

★大槻能楽堂 事務局(11:00～16:00 不定休)

TEL.06-6761-8055

●チケットぴあ(Pコード)

12/20 531-971 2/21 531-972 3/21 531-973



会場 大槻能楽堂

大阪市中央区上町A番7号

- 大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、
⑩号出口を出て南へ約300m。
(⑪号出口にエレベーター有)
または谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、
⑦号出口を出て北へ約350m。
(⑦号出口にエレベーター有)
- 市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。
※「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫前」行き、
「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き。

一歩踏み込んだ解説講座はいかがでしょう? 月イチ能楽講座in大槻能楽堂

講師 大槻裕一・成田泰

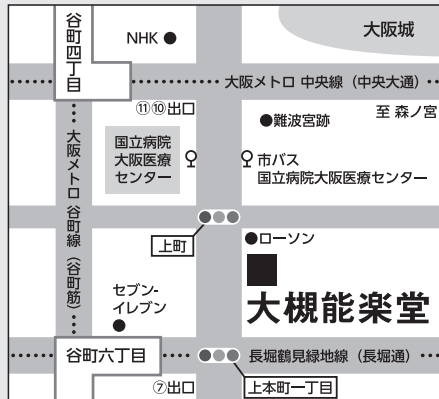
講座内容 12/16(火)19時～ 演目「山姥」

2/16(月)19時～ 演目「求塚」

3/18(水)19時～ 演目「松山天狗」

料金 2,000円

申込 右記QRコードを読み取り、申込フォームをご送信ください。



※駐車場・駐輪場はございません。

※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程・終演予定時刻等の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ、
お願い申し上げます。

※本公演における写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。

※上演中は時計等のアラームや携帯電話の電源をお切りください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。